

いしづち

愛媛労災病院広報誌第26巻第1号
(通巻第115号)
2026年1月5日発行
発行人：院長 木戸健司

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. 地域に密着した医療の確立
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 充分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利
- 4) 性別、年齢や障がいの状態によって差別されることなく、診療を受けることができる権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

新年あけましておめでとうございます



愛媛労災病院 院長 木戸 健司



皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年末には東北地方で再び大きな地震が発生しました。この原稿は発生翌日に書いておりますが大きな被害が出ていないことを祈っております。また皆様方が安らかなお正月を迎えたことを願っております。

さて今年予定しています愛媛労災病院の新しい取り組みとして地域包括医療病棟の導入をあげたいと思います。皆様方のなかには「あれ、労災病院にはもうそういう病棟があったんじゃないか。」と思われる方がいらっしゃるかもしれません。現在当院の南4階病棟に設置しているのは地域包括ケア(地ケア)病棟で、この両者は目的とするところが少し異なります。

地ケア病棟は急性期の治療を終えた患者さんで、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対して治療と共に在宅復帰に向けて支援したり準備したりすることを目的とした病棟です。

一方地域包括医療病棟は高齢者急性期医療とケアを兼ね備えた病棟として2024年の診療報酬改定の際定められました。その対象は高齢者の救急搬送を含む緊急に入院された方や緊急手術の方であり急性期病棟と地ケア病棟の中間の役割を果たしていきます。

昨年のこの欄で「これからますます高齢化が進む新居浜市、特に川東地区のなかでは高齢者特有の疾患、心不全や誤嚥性肺炎、脳梗塞や大腿骨近位部骨折が増加していくことが予想され、これら高齢者特有の疾患への対応がより求められると思います。」と記しました。まさにその目的にかなった病棟であると思います。

今年はこの地域包括医療病棟の運営を軌道に乗せ、地域の方々に寄り添った医療が行えるよう頑張っていきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

尾瀬の草紅葉	2	新規採用医師の紹介	4
耳鼻科聴力検査	3	第12回 愛媛労災病院市民公開講座	4
地域医療連携室	3		

尾瀬の草紅葉

高度治療部長 西 山 芳 憲

9月の終わりに、以前から行ってみたかった尾瀬に旅行した。上越新幹線の上毛高原駅で降車した。冬場は降雪量が多いのか、ホームもレールも屋根で覆われていた。駅前でレンタカーを借り、地殻変動と利根川源流の浸食により形成された「沼田の河岸段丘」という雄大な景色の中を進んだ。途中で「東洋のナイアガラ」と称される「吹割の滝」を散策し、片品村のペンションに到着した。標高は約1,000mで、夏もクーラーは不要らしい。開業以来、四国からの客は初めてだと言われた。

翌日、天気は曇りだった。マイカー規制のため、シャトルバスで鳩待峠に着く。ここからは徒歩になる。木の階段や木道のかなりきつい下り坂が1時間ほど続き、山の鼻ビジターセンターに着く。ここまででも顎が出る気分、しかし空は晴ってきた。やっと尾瀬ヶ原の散策がスタート、TEPCOの印が入った木道を進む。尾瀬は国立公園だが、大部分の土地は東京電力の所有らしい。東電小屋という山小屋もあった。標高約

1,400m、至仏山や燧ヶ岳という名山を背景に、湿原の泥炭層にできた池塘群と草紅葉で一面おおわれた光景の中をひたすら歩いた。「天上の楽園」を堪能し、とても感動した。この日は6時間ほどで、約22km歩き、足が棒になった。

二日目も曇り。尾瀬沼を巡ることとし、シャトルバスで、一ノ瀬に到着。ここから徒歩で1時間半かけて、三平峠の急登を越える。途中で歩荷さんに出会う。結構苦しかったが、やがて湖面が見えてきた。尾瀬沼を一周する。沼が間近に迫る湿原が続く開放的な道と樹林帯の中の薄暗い道が交互に現れ、違った雰囲気と変化に富んだ風景があった。大江湿原の眺めと燧ヶ岳を背にした沼の姿が特に印象に残った。この日も7時間かけて、約24km歩いた。

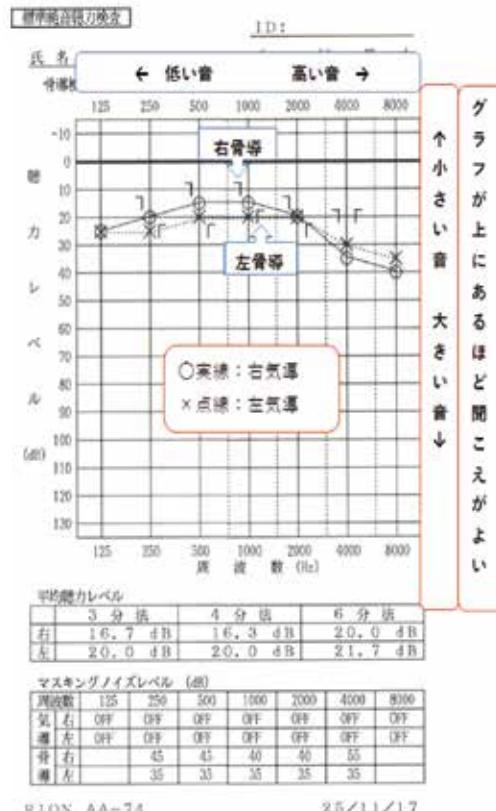
大自然の中の完全に静寂の世界をひたすら歩きに歩いた2日間だった。尾瀬に至るには、峠または地隙を1~1.5時間徒歩で越えなければならず、足腰が達者なうちでなければ行けない場所だということを痛感した。



耳鼻科聴力検査

検査部長代理 高橋直樹

耳鼻科聴力検査を8月より中央検査部で引き継ぎました。主に依頼があるのは標準純音聴力検査です。この検査は気道聴力といって耳の穴から音がどれくらい聴こえるかと、骨導聴力といって骨を伝わって音がどれくらい聴こえるかの両方を検査します。音の周波数は数字が小さいものが低い音、大きければ高い音を表しますが、気道聴力では7つの周波数、骨導聴力では5つの周波数を左右それぞれ検査します。これらの結果から左右差がないか、気道と骨導に差がないかなどを見て、疾患特定につなげたり治療の評価をする検査です。伝音性難聴、感音性難聴、突発性難聴などが主な対象疾患となりますが、めまい、メニエール病、中耳炎、顔面神経麻痺などでも耳の機能が影響することもあるため聴力検査の対象となります。なるべく早く原因を見つけて治療することが早期の回復や回復具合にも影響を与えることがありますので違和感があれば早めの受診・検査をお勧めします。



地域医療連携室

地域医療連携室長 岳田喜久美

地域医療連携室は、「地域医療連携」と「入退院支援」の役割を担い、医師、看護師、MSW、事務員の11名で、入院前から退院後まで、患者さんが安心して自宅や住み慣れた地域で生活できるよう、日々頑張っています。前方連携・後方連携に加え、介護者の方の入院や休養目的等で、在宅で生活されている要介護者の方のレスパイト入院を受け入れています。今年度は月平均3.7件と、すでに昨年の受け入れ件数を超えており、在宅で過ごす要介護者の方が、いつでも安心してレスパイト入院できるように、地域医療連携の役割を果たしていきたいと思っています。

また、年3回地域意見交換会を行っています。今年も、のべ34施設46名と多くの職種の方にご参加頂き、それぞれの立場・

経験から、事例を通して活発な意見交換が行え、有意義な時間となりました。今後も皆様のご要望を伺い、ブラッシュアップしながら開催していきます。

地域医療連携室では、院内外の多職種と連携・協働しながら、地域の方々が退院後も安心して生活できるよう積極的に支援に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



新規採用医師の紹介

中 村 桃 子



診療科
整形外科
経験年数 (医師免許取得後)
3年
趣味
ドライブ

コメント

この度、2025年10月より着任いたしました整形外科の中村桃子と申します。これまで、山口県で勤務しており、愛媛での生活は初めてです。外傷や慢性疼痛、感染症など整形外科疾患を診療させていただきます。精一杯がんばりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

第12回 愛媛労災病院市民公開講座

今日から始めるアンチエイジング ～いつまでも活き活きと過ごしていくために～

愛媛労災病院では、平成26年より、医療・介護と幅広い内容で、市民とともに健康について考える場を提供することを目的とし、市民公開講座を開催してまいりました。

第12回目となる今回は、「今日から始めるアンチエイジング～いつまでも活き活きと過ごしていくために～」をテーマとし、皮膚科医師、歯科口腔外科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師が講演を行います。

日本は5人に1人が75歳以上の超高齢化社会を迎えており、新居浜市も例外でなく市民の保健・医療・福祉等の様々な取組をしています。

このような社会の中で、アンチエイジングを図り市民一人ひとりが毎日元気でいることは超高齢化社会を支える基盤となってきます。本講座では、これから的人生100年時代を見据え、豊かで幸せに暮らすことができる新居浜市を実現すべく、医師、看護師、医療職の専門分野の講演を通し、市民の皆さんと一緒に身近な健康について考える場にしたいと思っています。

皆さまのご来場をお待ちしております。

令和7年度 第12回 愛媛労災病院
市民公開講座

今日から始めるアンチエイジング
～いつまでも活き活きと過ごしていくために～

1. 皮膚のアンチエイジング 皮膚科部長 桶口睦美
2. 骨粗鬆症について 薬剤部 國部祐太
・骨粗鬆症の薬について
・骨を若く保つには～骨粗鬆症を知ろう～
看護部 松原美紀
3. 笑顔が輝く、はじめてのホワイトニング 歯科口腔外科医師 洲之内彩乃
4. アルツハイマー型認知症のリスク評価について 中央検査部 大澤克佳
・MCI スクリーニング検査について
・MRI でわかる認知症の兆し～VSRAD 検査のご紹介～
中央放射線部 吉見隆志

参加費
無料
ご予約不要

日時 令和8年1月31日(土)
13:00～16:00 (開場 12:30～)

会場 新居浜市市民文化センター 中ホール
※駐車場の数に限りがございます。可能な限り乗り合わせてお越しください。

主催 愛媛労災病院 Johas 共催 新居浜市

広報誌編集メンバー

委員長：福井副院長

委員：篠原放射線科部長、岳田看護副部長、石原看護師長、

高橋看護師長補佐、大成主任薬剤師、小川主任作業療法士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、今村管理栄養士、稻富総務課長、岸本会計課員、丸山医事課員、藤岡総務課員、中嶋総務課員、池上総務課員